

【令和元年7月】

地域を支える仕組みづくり

高倉地区のコーディネーターが「生活の困りごと」把握に取り掛かっています

令和元年7月5日（金曜日）午前10時から高倉地区公民館にて柳原地区の方々、保健推進員、生活支援コーディネーター、民生委員と共に保健推進員主催の「ふれあい昼食会」と一緒に、カードを用いて「生活の困りごと」を把握しました。

2人のコーディネーターが進行を務め、普段ではなかなか言えない「生活の困りごと」を掘り起こしながらも、楽しく会話をしながら行われました。終わった後は、お茶を飲みながら「地区のことをもっと良くしたいね。」と未来の高倉地域について話し合っていました。



令和元年度地域活動サポーターの養成研修が鳴子温泉地域を皮切りに開催しました

令和元年7月5日（金）午後1時30分から鳴子保健福祉医療総合センターにて「令和元年度地域活動サポーター養成研修」を開催しました。令和元年度の地域活動サポーター養成研修は地域活動への参加を促し、支え合いや見守りを推進することを目的に鳴子温泉地域での開催を皮切りに市内全7地域で行われます。

鳴子温泉地域では第1回目のテーマを「地域活動サポーターの位置づけと見守り活動について」というテーマに設定し、民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員が講師となり、集いの場に参加することによる効果について講話を行いました。

また、カードを用いて自分たちの生活の困りごともしいきいき百歳体操等で集まることで解決できていることについても確認しました。参加者からは「いきいき百歳体操だけでなく、いろいろな集まりの場を増やしていきたい。」「もっと色々な人に来てもらえる工夫がしたい。」など前向きな発言がありました。

宮沢地区ではさまざまな関係者が連携して「生活の困りごと」を把握しております

令和元年 7 月 10 日（水曜日）午前 10 時から川熊地区にて、保健推進員主催の「ふれあい昼食会」と一緒に、地区の民生委員が連携してカードを用いて「生活の困りごと」を把握しました。宮沢地域では、把握した「生活の困りごと」を次年度の計画に反映していきたいと考えて取り組んでいます。

体験の後は、健康推進課の保健師から今時期の食事指導として、「食事（塩分）の取り方」と、その他に保健推進員からレクリエーションもありました。

4 回目となる今回を経て、宮沢地区全体に多い困りごとの内容が「除雪」・「草むしり」・「花壇の手入れ」等の「体に負担のかかる作業」の課題が浮かび上がりました。これまでの意見を取りまとめ、今後は何度も話し合いの場を設け、協力し合って進めていきます。

岩出山地域づくり委員会で「住民対象アンケート報告会および分析会」が行われました

令和元年 7 月 15 日（月曜日）午後 1 時 30 分岩出山スコレハウスにて、「住民対象アンケート報告会および分析会」を役員、親交会長、一般市民（岩出山高校生も含む）の多くの方々が参加し行われました。分析結果を見ながらまず初めに、これからの岩出山地域に必要なことを皆で共有・共感しました。

出された課題は、即解決出来る内容と、時間をかけて深堀していかなければならない内容と分けていき、今後は何度も話し合いの場を設け、協力し合って進めていくことが決まりました。



松山地域老人クラブ連合会友愛活動学習会が行われました

令和元年 7 月 16 日（火曜日）午前 10 時から松山公民館にて「松山地域老人クラブ連合会友愛活動学習会」が行われ、民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員が講師となり「大崎市流域地域包括ケアシステム」について講話を行いました。松山老人クラブ連合会では、「友愛」（仲間の結束）を大切にしており、活動することにはどのような意味があるのかを地域包括ケアシステムと照らし合わせて話をしてほしいという思いから今回の学習会に至りました。

参加者からは、「老人クラブ連合会の活動に参加することで、自分自身の居場所となっている。」「活動に参加することでお互いに見守りし合っている。」などの意見が出され、今後の活動の意味についても一緒に確認することができました。

東大崎地区振興協議会でワークショップ第 2 回を行いました

令和元年 7 月 27 日（土曜日）午後 7 時から古川東大崎地区公民館にて、「第 2 回東大崎地区サミット～住民編～」が開催されました。今回は、掘り起こした「課題」をこれからの理想とする東大崎地区へと向けて「どうあるべきか、望むことはどんな役割や存在、環境が必要か」の仕組みづくりの話を、行政職員がファシリテーターを担いワークショップを行い、目に見えない「課題」を「形ある姿」へ向けてたくさんの意見が出されました。次回は「形にした意見」を整理し、解決手段の検討を行います。



医療と介護の連携

令和元年度第 3 回ふらっといしかいサロンをオープンしました

令和元年 7 月 11 日（木曜日）午前 10 時から大崎市図書館 1 階フロアスペースにて、第 3 回目の「ふらっといしかいサロン」をオープンしました。

このサロンは、大崎市医師会主催で行っており、地域の方々が病気や健康管理のことについて「ちょっと聞いてみたいこと」を医師や看護師等に気軽に相談できる場になっています。お立ち寄りいただいた方の中には「毎月のサロンを楽しみにしている。」「市外だが気になってきてみた。」という方もおり、サロンが徐々に周知されてきた様子がうかがえます。

次回は 8 月 31 日（土曜日）午前 10 時から大崎市図書館研修室にて開催します。ふらっといしかいサロンをオープンして初めての試みとなる土曜日の開催です。是非お立ち寄りください。

大崎市医師会主催の第 3 回医学講座が開催されました

令和元年 7 月 16 日（火曜日）午後 6 時 30 分から大崎市図書館にて大崎市医師会主催による「今だから学びたい介護事業所向け医学講座」の第 3 回目が開催され、市内の介護事業所に勤めるケアマネジャーや介護士等が 65 人参加しました。今回は鶴田整形外科医院 鶴田 俊一 氏による「整形外科」についての講座が行われました。

介助時の腰痛防止の動作や高齢者の骨折を予防するための動作について実技を伴う講義が行われました。参加者からは「介護事業所に勤務している私たちのことを気遣ってくださった講義で大変勉強になった。」との感想がありました。

第3回自立支援型地域ケア会議が行われました

令和元年7月18日（木曜日）午後1時から、大崎市役所北会議室2階にて「令和元年度第3回自立支援型ケア会議」が行われました。自立支援型地域ケア会議は高齢者のQOL（人生の内容の質や社会的にみた生活の質）の向上、要支援者の生活行為の課題の解決等、状態の改善に導き、自立を促すための会議となっています。

自立支援型地域ケア会議に第1層の生活支援コーディネーターが参加することで、コーディネーターの活動についても徐々に周知することができております。また事例から地域課題の把握を行い、地域自治組織に配置されている第2層の生活支援コーディネーターと共有することで地域課題の解決策を検討していきます。

大崎市医師会主催で病診連携研修会が開催されました

令和元年7月24日（木曜日）午後6時30分からグランド平成にて、「大崎市医師会病診連携研修会」が開催され、市内の医療機関、診療所、訪問看護ステーション、行政など約70人が参加しました。

今回の研修会では大崎市医師会長 近江徹廣氏が講師となり「地域を支える医療について」というテーマで講演後、市内15の医療機関から「医療機関における病診連携に向けた取り組み」としてそれぞれの特色や連携体制について紹介がありました。

紹介の際には、連絡時に担当となる窓口や氏名等についても説明があるなど今後病診連携を推進するために必要な情報を共有しました。大崎市では今後も医師会等と協働して病診連携を進めていきます。

